

【第 1 号議案】

(法第 28 条第 1 項関係様式)

令和 3 年 5 月 26 日

宮崎市長 戸敷 正 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市鶴島 2 丁目 9 番 6 号 みやざき NPO ハウス 101
名称	特定非営利活動法人 宮崎文化本舗
代表者の氏名	理事長 石田 達也

令和 2 年度事業報告書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

目次

【1】事業の成果	1
【2】事業実施報告	2
ア. 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	2
①宮崎キネマ館事業	2
②みやざきアートセンター事業	3
③宮崎ストリートピアノプロジェクト事業	5
④アートフェスティバル開催準備業務	5
イ. 市民活動に関する連絡、助言、援助を行う活動	6
①宮崎県NPO活動支援センター事業	6
②みやざきNPOハウス運営事業	7
③みやざきNPO・協働支援センター事業	7
④宮崎市民活動センター運営事業	9
⑤休眠預金活用事業	12
⑥宮崎県地域を支えるNPO 草野の活動支援事業	13
ウ. まちづくりの推進を図る活動	13
①宮崎市自然休養村センター運営事業	13
②宮崎みたま園管理運営事業	13
③宮崎市萩の台公園管理運営事業	13
④みやざきフラワーロード・ネットワーク事務局運営	14
⑤道守みやざき会議事務局運営	14
⑥花ボラネットみやざき事務局運営	15
⑦花ボラネットみやざき協議会事務局運営	15
⑧宮崎県地域づくりネットワーク協議会事務局運営	15
⑨その他	16
エ. 環境の保全・啓発に関する活動	16
①九州地方環境パートナーシップオフィス（含む、九州地方ESD活動支援センター）運営支援業務	16
オ. 国際協力の活動	16
①宮崎市バージニア・ビーチ市姉妹都市協会事務局運営	16
カ. 情報化社会の発展を図る活動	17
①市民活動支援のためのホームページおよびSNS等の企画提案、作成	17
キ. 経済活動の活性化を図る活動	17
①コイヤ協議会事務局	17
②令和2年度日本農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業	17
ク. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	17
①インターンシップ受け入れ	17
ケ. 事務局コーディネート事業	17
①フィルム・コミッション機能強化事業	17
②宮崎映画祭事務局運営業務	18
③みやざき国際ストリート音楽祭2021事務局運営事業	18
④ジャパンライブエールプロジェクト事務局事業	18
⑤公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会 事務局運営支援	20
⑥みやざきSDGsプラットフォーム設立準備事務局運営	20
コ. 広報活動	20
①情報誌の発行による広報活動	20
②インターネットによる広報活動	20
サ. 災害救援活動	21
①復興支援活動	21
②防災減災に関する事業	21
シ. その他	21
①宮崎県庁見学ツアー	21
②外部人材活用による集落活動支援事業	21
③宮崎県指定居住支援法人に係る事業	21

【１】事業の成果

特定非営利活動法人宮崎文化本舗は令和２年度で第２１期を迎えた。

令和２年度は、昨年度にもまして新型コロナウイルスに翻弄された一年となった。

開催予定であった、東京オリンピック 2020 や国民文化祭・芸術祭みやざき 2020 などをはじめとする大きなイベント等が軒並み延期となり、飲食店を代表とした様々な事業所が休業・時短営業となるなど、市民活動・経済活動が大きく停滞した。これに加え自然災害も多発し、九州各県を襲った豪雨災害などが人々の日常を一変させる年であった。

当法人も社会活動が制限される厳しい情勢の中で、宮崎キネマ館やみやざきアートセンターなど、一般の市民を対象とする興行的な事業は、県独自の緊急事態宣言などによる影響を受け、大幅に利用者が減るなど大きな打撃を受けた。そのような中ではあったが、宮崎文化本舗の中核事業である宮崎キネマ館は 20 年の節目にあたり移転リニューアルを計画し、20 年にわたるアゲインビルでの営業を 2021 年 2 月で終了。カリリーノ宮崎 TRUNK に活動の場を移す計画を進めた。コロナ禍の影響で後ろ向きなニュースが多い中、明るい話題となり、様々なメディア等で取り上げられ、改めて当法人の取組をアピールできた。

また、コロナ禍の社会においては、経済停滞などから失業し、行き場を失う人が生まれるなど深刻な問題も増えてきている。当法人では、令和 2 年度より休眠預金事業の資金分配団体としての活動を開始し、向こう 3 年にわたり、社会的に孤立する人々を支援する団体を支援し、社会課題の解決に新たに取り組む事業を開始した。

新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組まねばならないという社会的な制限や経済的な障害の多い中、各事業所とも最大限に努力し、これまで培ってきたネットワークを活用し、「ジャパン・ライブ・エール・プロジェクト 2020in みやざき」や「宮崎県地域を支える NPO 草の根活動支援事業」など文化活動団体や NPO 法人全体を支える事業にも積極的に取り組んだ一年であった。

【2】事業実施報告

ア. 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動

①宮崎キネマ館事業

事業名 宮崎キネマ館多目的ホール運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 映画館運営、多目的ホール運営、貸館業務、映像ソフト貸出業務、映像機器貸し出し業務

	事業名	実施時期	参加者数	内容
1	特集上映 『鬼才ボン・ジュノの世界』	令和2年 4月25日、26日 5月7日、8日 7月18日～31日	200名	『パラサイト』のアカデミー賞受賞を記念してボン・ジュノ監督の過去作を特集上映。コロナの感染拡大により予定時期のほとんどが休館となり、7月に再上映。
2	『水曜日が消えた』 公開記念 中継舞台挨拶	令和2年 7月3日	30名	公開を記念して、中村倫也さんによる全国一斉中継舞台挨拶を開催
3	『RUN -3 films-』 公開記念 収録舞台挨拶	令和2年 8月15日～21日	30名	公開を記念して舞台挨拶を実施予定だったが、コロナの影響により、事前収録した舞台挨拶映像は上映後に併映
4	『8日で死んだ怪獣の 12日の物語』 公開記念 中継舞台挨拶	令和2年 9月5日	10名	公開を記念して岩井俊二監督による中継舞台挨拶を開催
5	『子どもたちをよろしく』 公開記念 中継舞台挨拶	令和2年 10月10日、11日	70名	公開を記念して舞台挨拶を実施予定だったが、コロナの影響により、中継舞台挨拶に変更。2日間実施
6	『82年生まれ、キム・ジヨン』 託児付き上映 共催：宮崎県男女共同参画センター	令和2年 11月18日、19日 21日、25日	20名	宮崎県男女共同参画センターとの共催により、託児付きの上映会を実施。
7	『現在地はいづくなりや』 公開記念 舞台挨拶	令和2年 11月21日、22日、 23日	30名	公開を記念して、宮崎出身の小玉監督をお招きして舞台挨拶を開催。3日間実施
8	『ばるぼら』 公開記念 中継舞台挨拶	令和2年 11月21日	50名	公開を記念して稲垣吾郎さん、二階堂ふみさんによる中継舞台挨拶を開催
9	『彼女は夢で踊る』 公開記念 舞台挨拶	令和2年 12月12日、13日	50名	公開を記念して宮崎出身の横山雄二さん、時川英之監督による舞台挨拶を開催
10	第26回宮崎映画祭 主催：宮崎映画祭実行委員会	令和3年 1月9日～16日	1050名	約20作品の映画上映および貸館を手配。付帯企画として、映像作家を応援するのみやざき自主映画祭を実施。事務局代行も行った。
11	『蒲田行進曲』、『ゆれる』 35mmフィルム上映	令和3年 2月13日、14日	350名	移転前の最終上映として、開館以来使用しているフィルム映写機を使って、2作品特集上映

○宮崎キネマ館移転計画

実施時期 令和2年8月1日～令和3年3月31日

事業内容 令和3年4月2日の移転リニューアルオープンに向けた準備を行った。

②みやざきアートセンター事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

来館者数 28,077人

事業内容 中心市街地の活性化を目的として自主事業、宮崎市の委託事業、貸館事業をはじめ、多数の講座・講演会およびワークショップ等を開催し、多くの市民が様々な文化に触れる機会を創出した。また、子育て支援の施設としてキッズスペースの運営をはじめとした様々なイベント等の業務を行った。

1. 事業名 シルバニアファミリー展

主催 みやざき文化村、UMK テレビ宮崎

実施時期 令和2年3月20日（祝金）～5月10日（日）[48日間]

実施場所 みやざきアートセンター

参加者 なし（中止により）

事業内容 女の子だけでなく大人をも魅了した「シルバニアファミリー」は、誕生から35年を経た今、60の国と地域で親しまれているロングセラー玩具となった。人形をはじめお家や家具など国内で販売された1,000点以上を一堂に展観できるシルバニアファミリー史上最大規模の本展では、誕生にまつわる制作資料や30年以上つづく「シルバニア通信」など、貴重な資料も公開。小さくてかわいいシルバニアファミリーの世界を通して、長い間親しまれるその魅力に迫るはずだったが、本展覧会は、コロナウイルス感染拡大防止のため、開会することなく中止となった。代替えとして当館HPにて、展覧会のウェブギャラリーを開始した。

2. 事業名 アートセンターのあきやすみ

主催 みやざき文化村

実施時期 令和2年9月19日（土）～9月27日（日）[9日間]

実施場所 みやざきアートセンター4階アートスペース1

参加者 713人 無料

事業内容 全国的に新型コロナウイルス感染症が流行し、当館もシルバニア展はじめ多くの事業の中止や講座の休講、更に2回の休館となった。休館中にスタッフの育成と収益につながる自主企画事業の発案・運営の機会として、小学生を対象にした工作イベントを展開した。

3. 事業名 Art Box -アートボックス#03-

主催 みやざき文化村

実施時期 令和3年2月8日（月）～2月23日（火祝）[14日間]

※NITTAKE氏を除く3名は28日まで展示。

※1月上旬の宮崎県の緊急事態宣言発令により、1月23日～2月14日に予定していた会期を変更した。

実施場所 みやざきアートセンター5階

参加者 775人

事業内容 アートを通じた出会いと交流、そして制作活動の支援を目的に、制作・発表を続けるアーティストや、アートを積極的に生活の中に取り入れて活動している人・団体に焦点をあて、主に宮崎県在住・出身者を対象に個展形式で紹介する。同時に、市民が気軽にアートに親しむことのできる場を設け、アーティスト同士や来場者など、人と人を繋ぐ機会を提供する。

【参加アーティスト】酒生哲雄、中嶋美穂子、富永美恵、NITTAKE

4. 事業名 第45回宮崎市美術展

主催 宮崎市

実施時期 令和2年11月28日(土)～12月13日(日) [16日間]

実施場所 みやざきアートセンター

参加者 769人

事業内容 宮崎市文化・市民活動課より委託を受け、実施主体として企画運営を行った。宮崎市内および国富・綾町の芸術を愛する在住者並びに宮崎市の在学・在勤者を対象に「宮崎市美術展」の企画・運営を通して、宮崎市民の文化・芸術に対する意識の醸成を目的として実施した。緊急事態宣言の発令やコロナウイルス感染症拡大の状況から、県を越えて審査員の往来がある審査会、大勢の人が密集する表彰式や講評会、第4回運営委員会は行わなかった。またコロナ禍で無審査の展覧会を開催したため、出品者は減少となった。

・出品総数 163点(内無鑑査 8点)

5. 事業名 みやざきバレエまつり マーシャの夢—くるみ割り人形版

実施時期 令和3年2月11日(木) 17:00～19:00

実施場所 メディキット県民文化ホール(演劇ホール)

参加者 692名(参加者614名、出演者34名、スタッフ44名)

事業内容 JAPAN LIVE YELL project の中の文化村主催事業。国内有数のバレエ団(東京シティ・バレエ団、スターダンサーズ・バレエ団、NBA バレエ団)のプロダンサーをゲストにバレエ公演を開催。普段からバレエ鑑賞の機会が少ない宮崎において、実力ある新進気鋭の若手ダンサーらの華麗なる技術と表現力を間近で観ることのできる機会を提供し、人々にバレエへの興味を持ってもらい、愛好家の層を増やす。また、生まれた時から両耳が聞こえず、人工内耳を着けている岩手県の中学一年生・菊池海麗さんを特別ゲストとして招き、障がいを日々の努力で補いながら真摯にバレエと向き合っている成果を披露する。そのことで、菊池さん本人、同じく障がいを持つ人たち、また、バレエに従事する人に対してのエールとなることを期待する。加えて、宮崎県出身のアマチュアダンサーや県内の教室に在籍する学生やその先生などにも公演に参加する機会を提供する。プロダンサーらとともに舞台に立つ機会を創出することで、バレエを学ぶ人の目的意識や技術向上の機会となることを期待する。公演のサブイベントとしてバレエに関するワークショップを開催。プロ男性ダンサーを講師に、中級レベルのバレエ技術を習得している女性を対象にした「パ・ド・ドゥクラス」、バレエに興味がある初心者を対象にした「はじめてバレエクラス」、またバレエに関連する創作系ワークショップとして「ヘッドドレス制作」ワークショップを開催し、観るだけでなく多方向からバレエに関わることのできる機会を創出する。バレエに興味のない人でも分かりやすく楽しめる内容で事業を構成し、バレエの面白さや魅力を広く伝えていくことを目標とした。

6. 事業名 子育て支援キッズスペース運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

利用者数 3,565 人

事業内容 中心市街地活性化に寄与することと子育て支援を目的としてキッズスペース運営を中心に様々なワークショップ・イベントを実施

7. 事業名 みやざきアートセンター太陽の広場貸館事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

対象者 制限なし。貸出件数：41件、利用者数：2,840人

事業内容 「太陽の広場」を有料の貸出スペースとして活用することによって、利用者に対しては未知の来場者との出会いを、商店街を訪れた市民には触れる機会のなかった文化との出会いを提供し、中心市街地の賑わいの起点とする。

8. 事業名 みやざきミュージックフェスティバル 2021

主催 みやざき国際ストリート音楽祭実行委員会

実施時期 令和元年8月20日～令和2年11月12日

開催期間 令和2年10月25日

実施場所 宮崎市民プラザオルブライトホール、みやざきアートセンター太陽の広場、一番街
宮崎山形屋四季ふれあいモール、MRTmicc ダイヤモンドホール、SR BOX

事業内容 3月4日、宮崎で初めてコロナ感染者が確認され、それに伴い様々なイベント等が中止や延期となった。実行委員会では、みやざき国際ストリート音楽祭も4月29日の開催は困難と判断し、今までの橋通を歩行者天国にするのではなく、宮崎市中心市街地6カ所で行った。今回は、広告協賛金での運営ではなく、JAPAN LIVE YELL project の事業として文化庁からの委託で行ったため、実費の支出以外は翌年持越しとなった。

総出演者約 500 名 集客約 3,000 名

③宮崎ストリートピアノプロジェクト事業

主 催 宮崎ストリートピアノプロジェクト実行委員会

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 アートセンター1 階太陽の広場

事業内容 商店街活性化の一環として、自由に弾くことができる「ストリートピアノ」をアートセンター1 階太陽の広場に設置し、イベント開催運営や保守管理等を行う。本年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、ストリートピアノの利用を一定期間制限するなどを行った。また、例年実施するイベントが軒並み中止となった。そんな中ではあったがこれまで毎月開催してきた「まちかどジャズ」に関しては、6回は感染状況の隙間を見て実施することができた。

④アートフェスティバル開催準備業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市

事業内容 「第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」におけるアートフェスティバル開催に向けて準備業務を行った。当初2020年10月25日（日）開催予定のアートフェスティバルが2021年10月2日（土）に延期開催が決定し、2021年度実施に向け、再度計画策定委員会を設置。延べ2回の運営計画策定委員会を開催し、企画内容および運営計画について協議を行った。

イ. 市民活動に関する連絡、助言、援助を行う活動

①宮崎県NPO活動支援センター事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎県NPO活動支援センター、宮崎県内

事業内容 自主事業。NPOに関するガイダンス、コーディネートの実施、NPO活動支援センター研修事業、講座等の開催。

利用実績 255件

1. 事業名 令和2年度共助の基盤づくり事業

みやざきNPO・協働支援センター事業（NPO活動支援事業）

実施時期 下記一覧参照

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター（リモートも併用）

参加者 県内NPO法人等 延べ181名

事業内容 宮崎県の補助事業。NPOに関するガイダンス、コーディネートの実施、NPO活動支援センター研修事業、講座等の開催。また、県内のNPOネットワーク構築を目的とした意見交換会（事務長連絡会・政策連絡会）や中間支援組織のスキルアップ研修等も行った。併せて、宮崎県NPO企画力等向上研修も全7回実施した。

【宮崎県NPO企画力等向上研修】

講座名	日時	講師	参加者数
①「はじめの一步！ 初心者のためのZOOM講座」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 5月28日(木) 18:30～20:30	吉澤 隆 氏 (株式会社マーケティングジャンク ション代表)	43名
②「ファンドレイズの手法 助成金をとるコツ」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 9月26日(土) 14:00～16:30	山田 泰久 氏 (非営利組織評価センター 業務執行理事)	26名
③「大切な声や想いを 可視化して育む講座 基礎編」 ※宮崎市民活動センター共催 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 11月13日(土) 18:30～20:30	清山 美咲 氏 (グラフィックハーベスター)	28名
④「類型町のまちづくり ～地域資源を 磨いてビジネスにつなげる～」 「宮崎県・日本政策金融公庫施策紹介」 ※日本政策金融公庫宮崎支店共催 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 11月26日(木) 18:30～21:00	加藤 潤 氏 (NPO法人類型おこそ会副理事長) 宮崎県中山間地域政策課 今村主幹 日本政策金融公庫 田尻氏	25名
⑤「ZOOM会議を主催するための ステップアップ講座」 ：ZOOMによるリモート開催	令和2年 12月5日(土) 13:00～16:30	吉澤 隆 氏 (株式会社マーケティングジャンク ション代表)	13名
⑥「大切な声や想いを 可視化して育む講座 応用編」 ※宮崎市民活動センター共催 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 12月10日(木) 18:30～20:30	清山 美咲 氏 (グラフィックハーベスター)	23名
⑦「地域包括ケアの今、 そしてこれから」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和3年 2月6日(土) 10:00～12:00	井上 謙一 氏 (認定NPO法人じゃんけんぽん理 事長)	23名

2. 事業名 宮崎県・宮崎県社会福祉協議会・NPO 防災会議

実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施内容 行政・社協・NPO の三者が、災害発生時にスムーズに連携を取っていく事を目的として、日常から情報交換等を行える組織を設立し、事務局を運営。

②みやざきNPOハウス運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 みやざきNPOハウス運営管理業務。日常的な管理業務の他、入居希望者の対応、14団体の入居団体と構成する管理委員会の事務局などを行った。

③みやざきNPO・協働支援センター事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎県内

事業内容 NPO、協働、地域づくりに関する相談業務、コーディネートの実施、講座等の企画運営、活動支援スペースの貸し出し等

1. 事業名 相談対応及びサポート業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎県内

事業内容 1年を通じてNPO・協働・地域づくり等に関して203件の相談を受けた。

2. 事業名 協働・地域づくり・NPO研修

実施時期 下記一覧参照

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター（リモートも併用）

参加者 県内NPO法人等 延べ187名が参加

事業内容 宮崎県の委託事業。協働・地域づくり・NPOへの理解促進や活動促進のための県民向けの研修「ヒムカレッジ」（全4回）の開催、および県内中間支援組織等の実施する研修会への協力や、地域で開催される研修会への講師紹介、派遣を行った。

【ヒムカレッジ】

講座名	日時	講師	参加者数
①「改めて働くを考える 「そもそも」を知って一歩踏み出す～歴史と 国際比較と倫理と～」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 7月30日(木) 18:30～20:30	覺正 寛治 氏 (人財コンサルタント、 鹿児島県知事委嘱薩摩大使)	111名 ※ Youtube 視聴者含む
②「人生笑ったもん勝ち！ ～あなたが美しくあるための3つのS～」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 8月27日(木) 18:30～20:30	相良 照代 氏 (都城市観光大使)	23名
③「コロナ後を生きるためのメディアリテラ シー～メディアをかしこく活用するための 方法とは？～」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 10月15日(木) 18:30～20:30	校條 諭 氏 (メディア研究者)	22名
④「地域協働で子どもをはぐくむ」 ：ZOOMによるリモート開催	令和3年 1月23日(土) 14:00～16:00	木村 泰子 氏 (大阪府立大空小学校初代校長)	31名

3. 事業名 県が行う施策への協力

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎県内

事業内容 事業内容の変更を受けて、1年を通じてNPO・協働・地域づくり等に関して県と連携しての情報発信を中心に行った。

4. 事業名 情報提供

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター

事業内容 情報提供

- ・ホームページ、ブログ、SNS等を中心に様々な情報を提供した。
- ・センター内において、チラシ等を設置して、情報発信を行った

5. 事業名 ソーシャルビジネスの起業化／協働・地域づくり・NPOの拠点化／協働の普及啓発

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、他

事業内容 ○ソーシャルビジネスの起業化として

- ・企画力向上研修にて実施した加藤淳氏を招いての講座において、ソーシャルビジネス好例をお話しいただき、それらの資金獲得の例として日本政策金融公庫担当者より、ソーシャルビジネス向けの融資についての説明をいただいた。

○利用者が増える仕掛けづくりとして

- ・県内教育機関をはじめ、支援スペースの利用が見込まれる団体への足を運んでの案内や、リーフレット配布活動を実施
- ・他団体との協働による講座等の開催として、NPO 法人いさいとによるまちなか考古学講座を協働開催
- ・NPOに関する書籍等を設置し情報発信およびセンターへの来館動機付けを行った
- ・センター内に県補助金を使い掲示スペースを設置し、利活用をすることでセンターへの来館動機付けを行った
- ・ミニ講座を実施しセンターへの来館動機付けを行った

講座名	日時	講師	参加者数
「ZOOM 導入講座」	令和2年 7月21日(火) 15:00～16:30	名田 敬仁 (みやざきNPO・協働支援センター長)	7名
「消しゴムハンコづくり講座」	令和2年 8月7日(金) 13:30～15:30	酒井 美千代 氏 (主婦)	10名
「映画の楽しみ方講座」	令和2年 8月11日(火) 18:00～20:00	喜田 惇郎 氏 (宮崎キネマ館支配人)	15名
「フロシキノススメ」	令和2年 9月16日(水) 18:00～20:00	甲斐 美穂子 氏 (ムスの会)	19名
「『美のかげら』を探して、 書に生きて…」	令和2年 11月7日(土) 18:00～20:00	森 和風 氏 (書作家)	16名

○協働に関する情報の発信として

- ・宮崎市民活動センターと連携しての啓発活動を行った

④宮崎市民活動センター運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター、宮崎市

事業内容 宮崎市民活動センターの運営、会議スペースの貸し出し、講座等の企画運営、市民活動に関する連絡、相談、援助等

1. 事業名 市民活動に関する連絡、相談、援助等に関する業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター、宮崎市内

事業内容 市の行う市民活動団体支援施策の説明・相談。市民活動支援補助金をはじめとする補助金等についてセンターホームページ、チラシの掲示を行った。
また、市民活動保険などを登録団体に紹介した。
市民活動、NPOの運営等に関して225件の相談を受けた。
市民と市民活動団体とのコーディネートをおこなった。
個人ボランティアの登録を行った
ボランティア表彰に関して推薦をおこなった。

2. 事業名 市民活動に関する講座・研修等の実施（講座5回）

実施時期 令和2年9月18日～令和3年2月17日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎市民プラザ会議室、ZOOM

参加者 延べ104名が参加

事業内容 市民活動に関する講座・研修等の実施

講座名：会場	日時	講師	参加者数
①「Web 会議システム講座」 ：宮崎市民プラザ4階 学習室	令和2年 9月18日(金) 18:30～20:00	石田 達也 氏 (特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 代表)	26名 会場：12名 Web参加：14名
②講演会「日本の未来 子どもたちの未来」 ：みやざきNPO・協働支援センター	令和2年 10月9日(日) 18:30～20:00	寺脇 研 氏 (学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 教授)	40名 会場：22名 Web参加：18名
③「市民活動団体のための Web 会議システム講座」 ：宮崎市民プラザ4階 学習室	令和2年 11月20日(金) 18:30～20:30	石田 達也 氏 (特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 代表)	18名 会場：10名 Web参加：8名
④「市民活動団体向け 会計講座日常管理編」 ：宮崎市民プラザ4階 学習室	令和2年 12月17日(木) 18:30～20:00	片野坂 千恵 氏 (みやざき子ども文化 センター事務局長)	10名
⑤「市民活動団体向け 会計講座決算編」 ：宮崎市民プラザ4階 学習室	令和3年 2月17日(水) 18:30～20:00	片野坂 千恵 氏 (みやざき子ども文化 センター事務局長)	10名

3. 事業名 市民活動に関する情報の収集及び提供に関する事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター

事業内容 センターホームページの作成及び維持
情報誌「かわら版」の発行と配布(毎月900部)
情報誌「ミヤザキ大作戦」の発行と配布(年4回5000部)
ホームページ、ブログ、SNS、掲示板の活用
新聞、各種図書資料の購入、収集、整理及び掲示

4. 事業名 市民活動に関する人材育成及び交流促進に関する事業

「活動リーダー」育成に関すること（講座6回以上）

実施時期 令和2年9月26日～令和3年3月9日

実施場所 宮崎市一番街、みやざき NPO・協働支援センター、ZOOM 会場

参加人数 延べ284名が参加

事業内容 市民活動やまちづくりで、組織や地域の先導役となる「活動リーダー」を育成するため継続的かつ専門的な研修や講座を実施する。

講座名：会場	日時	講師	参加者数
①「ファンドレイズの手法 助成金を取るコツ！」 ：みやざき NPO・協働支援センター	令和2年 9月26日(土) 14:00～15:30	山田 泰久 氏 (（一財）非営利組織評価 センター 業務執行理事)	24 名 会場:10 名 Web 参加:14 名
②宮崎市民活動体験プログラム (自然エネルギーの活用、エコクラフト) ：宮崎市 一番街アーケード内	令和2年 10月25日(日) 13:00～19:00	エコクラフトさくらの会、	延べ 144 名
③宮崎市民活動体験プログラム (自然エネルギーの活用、エコクラフト) ：宮崎市 一番街アーケード内	令和2年 10月25日(日) 13:00～19:00	NPO 法人ひむかおひさま ネットワーク × 宮崎市環境保全課	上記②と同じカ ウント
④「大切な声や想いを可視化して育む講座」 基礎編 ※昨年度から繰越 ：みやざき NPO・協働支援センター	令和2年 11月13日(金) 18:30～20:30	清山 美咲 氏 (グラフィックハーベスター)	28 名 会場:14 名 Web 参加:14 名
⑤「大切な声や想いを可視化して育む講座」 応用編 ：ZOOM会場	令和2年 12月10日(木) 18:30～20:30	清山 美咲 氏 (グラフィックハーベスター)	23 名 Web 参加のみ
⑥「わたしたち×SDGs～イマココからで きること～」 ：ZOOM会場	令和3年 1月29日(金) 18:30～20:00	難波 裕扶子 氏 (南日本ハム株式会社 管理本部食育広報推進課 課長(SDGs カードゲーム 公認ファシリテーター))	20 名 Web 参加のみ
⑦「企画作成力アップ講座」 ：ZOOM会場	令和3年 2月22日(月) 18:30～20:00	根岸 裕孝 氏 (宮崎大学地域資源創成学部)	20 名 Web 参加のみ
⑧『市民活動のための「助成金」獲得講座』 ：みやざき NPO・協働支援センター	令和3年 3月9日(火) 18:30～20:00 (20:00 より質 疑応答)	井上 優 氏 (特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 副理事長)	25 名 会場:12 名 Web 参加:13 名

5. 事業名 市民活動を担う次世代の育成（2回以上）

実施時期 令和2年6月2日・令和2年9月9日

実施場所 宮崎看護大学、宮崎第一中学校ホール

参加者 延べ169名が参加

事業内容 センターの紹介、ボランティアの現状や課題、ボランティア活動時の注意事項を伝え、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、ボランティアの募集が少ない状況の為、身の回りで困りごとがないか目を向けてみることや、自宅で出来る収集や寄付といったこともボランティアの例として紹介した。

業務名：会場	日時	講師	参加者数
①市民活動を担う次世代の育成 ：宮崎看護大学ホール	令和2年 6月2日(火) 16:50～18:20	武田 貴恵 (宮崎市民活動センター)	延べ64名 (教員4名)
②市民活動を担う次世代の育成 ：宮崎第一中学校ホール	令和2年 9月9日(水) 13:40～15:30	武田 貴恵 (宮崎市民活動センター)	105名 生徒100名 教員4名 外部参加1名

6. 事業名 市民活動に関する人材交流促進に関する業務（1回以上）

実施日時 令和3年1月30日（土）

実施会場 ZOOM 会議

参加者 延べ8名

事業成果 学生と企業が参加。SDGsを通して21世紀を生き抜く力を養い、企業は自社の魅力をアピール。参加者それぞれがSDGsについて協働して考えることで新しい関係性を生み出した。

業務名：会場	日時	事業名	参加者数
① 市民活動に関する人材交流促進に関する業務 ：ZOOM 会議	令和3年 1月30日(土) 14:50～16:50	産学官連携事業 『2020-2030 MIYAZAKI SDGs ACTION』	8名 Web参加のみ

7. 事業名 市民活動の推進のための施設及び設備の提供に関する業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター、宮崎市内

事業内容 市民活動団体への会議室の貸し出し、相談業務、印刷機やポスタープリントなどのサービスの提供。

8. 事業名 センターの使用の許可に関する業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター

事業内容 市民活動団体の登録、ロッカーやメールボックスの使用許可

9. 事業名 センターの施設、付属設備及び備品の維持管理業務

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市民活動センター

事業内容 施設・設備の保守管理を行った。

10. 事業名 災害や危機管理業務
- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 実施場所 宮崎市民活動センター、宮崎市社会福祉協議会
- 事業内容 7月10日災害ボランティアセンター支援体制検討会議参加
2月18日資機材点検参加
市民プラザとの防災合同訓練
センター緊急時の対応マニュアルを作成

11. 事業名 管理運営に関する自己評価に関する事業
- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 実施場所 宮崎市民活動センター
- 事業内容 利用者アンケートを行っており、センターの運営に反映
運営評価委員会を年2回開催

⑤休眠預金活用事業

1. 事業名 休眠預金等活用事業（草の根活動支援事業）
- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 実施場所 宮崎県内
- 事業内容 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づき、10年以上入出金等がない預金[休眠預金]等を、民間公益活動を促進するために活用する事業の資金分配団体として、実行団体3団体への助成と監督を行う。社会的孤立の解消を目的とした事業として、以下の3つの事業を伴走支援する。なお本事業の実施期間 は令和3年1月14日～令和6年3月31日までとなる。
- ①社会的孤立解消のための事業（重症児、医ケア児の家族及び本人の社会的孤立解消のために）
 - ②子育てワンストップセンター及びネットワークの構築
 - ③人口減少化により孤立した集落の関係人口による課題解決プロジェクト
2. 事業名 休眠預金等活用事業（新型コロナウイルス対応支援助成）
- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 実施主体 公益財団法人佐賀未来創造基金（コンソーシアム：宮崎文化本舗）
- 実施場所 九州全域
- 事業内容 ①各県の災害支援団体や中間支援組織に対して直近で罹災した地区へ新型コロナウイルス 対策を考慮した緊急対応助成
②九州県内での災害リソースを補完するための、新たなガイドライン設置と、そのための 助成先同士のネットワークづくり
③福岡を中心にした九州の経済界との連携による人・物・金の確保協力
④将来にむけた新しい支援の仕組み作りの準備（ICTソリューションや物流網の構築等）

⑥宮崎県地域を支えるNPO 草の根活動支援事業

1. 事業名 宮崎県地域を支えるNPO 支援事業

実施時期 令和2年8月26日～令和3年3月31日

事業内容 令和2年度のみやざきNPO・協働支援センターの受託団体である特定非営利活動法人宮崎文化本舗が、県の委託を受けて、県内のNPO法人に対して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な物資の調達や新しい生活様式に対応するための補助金(上限5万円)を交付する事業を行った。県内NPO全444団体に情報を発信し、うち232団体より申請があった。

2. 事業名 宮崎県地域を支えるNPO草の根活動支援事業

実施時期 令和2年10月7日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎県

事業内容 2012年度に制作した「みやざきNPO法人名鑑」をWEB版でリニューアルすべく、企業や団体向けに対してNPOが必要とする支援内容を検討し、県内で中間支援を行う10団体(地域に対する支援だけでなく活動内容別に支援する団体も含む)に対して電話でのヒアリングを行った。調査時宮崎県内NPO法人数:447法人、解散または住所不明:10法人、郵送:430法人、持参:7法人、再郵送:3法人。

ウ. まちづくりの推進を図る活動

①宮崎市自然休養村センター運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市加江田

対象者 49,823名が利用

事業内容 温泉施設 宮崎市自然休養村センター指定管理業務
地域やNPOと連携しての各種自主事業等

②宮崎みたま園管理運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 宮崎市より指定管理者の指定を受けた公園墓地施設の運営を、(株)文化コーポレーション・(一財)みやざき公園協会・(社)いつか会との共同体「ビー・アイ・ケーみたま」にて遂行。広報および自主事業企画運営を担当。

1. 事業名 令和2年度宮崎みたま園広報事業「第6回宮崎みたま園川柳大会」

募集時期 令和2年7月27日～令和2年8月31日

応募方法 メール・FAX・ハガキ・インターネット

対象者 みたま園利用者及び周辺住民・小中高生を中心とした宮崎県民・県外の方

事業内容 「第6回宮崎みたま園川柳大会」の開催。募集テーマを「とっておきの家族(故人)との思い出」とし、小学生以下・中高生・一般の3部門に分けて広く、川柳の募集を行った。357名から830句の応募があった。

③宮崎市萩の台公園管理運営事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 宮崎市より指定管理者の指定を受けた公園施設の運営を、(一財)みやざき公園協会との共同体「萩の台公園運営プロジェクト」にて遂行。自主事業企画運営を担当。

1. 事業名 第13回萩の台公園小学生クロスカントリー駅伝大会
実施時期 令和2年11月14日(土)
実施場所 宮崎市萩の台公園
対象者 小学5～6年生。選手は延べ117名、関係者40名が参加。
事業内容 第13回開催。起伏のある地形を活かした駅伝およびロードレースを開催。
上位入賞チームおよび個人にはシューズ等の賞品の進呈。

④みやざきフラワーロード・ネットワーク事務局運営

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業内容 定例会議の招集・実施、会計、イベントおよび広告花壇の運営。

1. 事業名 まちなかフラワーパーク2020春の植栽
実施時期 令和2年4月18日(土) 9:00～11:00 実施場所 宮崎市中心市街地
対象者 中心市街地商店街関係者を中心とする宮崎市民
事業内容 みやざき国際ストリート音楽祭の前に、市民ボランティアによる橘通および各商店街花壇の植栽と道路の清掃を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアイベントを中止し、宮崎市を介した業者委託による植栽を実施した。
2. 事業名 橘通3丁目花壇7月植栽
実施時期 令和2年7月18日(土) 9:00～10:00
実施場所 宮崎市橘通3丁目
対象者 中心市街地商店街関係者を中心とする宮崎市民
事業内容 宮崎市が主催する植栽事業に協力して、ボランティアの募集・とりまとめ、当日運営を担当した。橘通3丁目の沿道花壇の植栽を行った。市民ボランティア約70人が参加。
3. 事業名 まちなかフラワーパーク2020秋の植栽
実施時期 令和2年10月17日(土) 9:00～11:00
実施場所 宮崎市中心市街地
対象者 中心市街地商店街関係者を中心とする宮崎市民
事業内容 神武大祭の前に、市民ボランティアによる橘通および各商店街花壇の植栽と道路の清掃を行った。市民ボランティア約130人が参加。
4. 事業名 橘通フラワーサポートシステム
実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
実施場所 宮崎市橘通(国道220号線)3丁目東西沿道の広告花壇
対象者 制限なし ※審査あり
事業内容 橘通における植栽・美化活動の持続的な実施を図るため、橘通の花壇に広告プレートを設置、企業からの広告料により花壇の維持管理を行った。15の企業・団体が広告を掲出。前年比1減で56基のうち46基が稼働。

⑤道守みやざき会議事務局運営

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業内容 道守みやざき会議総会の書面報告、会計、イベント企画運営。

1. 事業名 道守学習会（宮崎県地域づくりネットワーク協議会と同時開催）
 主催 （道守みやざき会議、国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県、宮崎市）
 実施時期 令和3年1月30日(延期)、令和3年3月6日(延期)
 実施場所 延岡市
 対象者 県内の道守会員、道路関係者、行政担当者等
 事業内容 「道」に係る人材を育て、これからの「道守」について意見交換を行う交流会の開催を実施予定だったが、コロナウイルスの影響により2度の延期となった。

⑥花ボラネットみやざき事務局運営

- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
 事業内容 情報の集約、および会員への連絡等の事務局業務

⑦花ボラネットみやざき協議会事務局運営

- 実施時期 令和2年4月1日～令和2年3月31日
 事業内容 情報の集約、および会員への連絡等の事務局業務

1. 事業名 みやざきフラワーマンス2020
 主催 花ボラネットみやざき協議会
 実施時期 令和2年4月1日～令和3年6月7日（中止）
 実施場所 宮崎市
 対象者 宮崎県民

⑧宮崎県地域づくりネットワーク協議会事務局運営

- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
 事業内容 宮崎県内の地域づくり団体の活性化に資する事業の運営やサポート

1. 人材育成事業

事業名	内容
日本のひなた地域づくり実践塾	県内8つのブロックが独自に行う、実践塾についてサポートを行った。
日本のひなた地域づくり実践塾 報告会・審査会	県内8つのブロックが行った実践塾の報告会・審査会の運営を行った、令和2年度は観覧者を入れずに、Youtube ライブ配信および配信にて公開した。
地域課題解決モデル事業	多様化する地域課題に対応し、持続可能な地域社会仕組みづくりを行っている団体に助成金を出す事業の運営を行った。フォレストピアブロック運営会議実行委員会、霧島おむすび自然学校、てるはの森の会、南那珂ブロック運営会議実行委員会の4団体が採択

2. ブロック連携強化事業

事業名	内容
ブロック運営会議	ブロック毎のネットワークを強化するために、意見交換会などを行う事等の運営支援を行った。

3. 地域づくり交流事業

事業名	内容
宮崎県地域づくり団体研修交流会 道守みやざき交流会 2020	宮崎県内の地域づくりの団体等が地域の活性化に資する研修と、交流を深める場を提供し運営した。 2020年度は延岡市にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のもと中止とした。

4. 情報発信・連携事業

事業名	内容
情報発信	地域づくり団体等が企画している研修や、その報告等をSNS等で情報発信を行った。
広域・市町村連携強化	九州・山口地域づくり人材ネット研修会、地域づくり団体全国協議会九州ブロック会議、第38回地域づくり団体全国研修交流会長崎大会、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のもと中止となった。

5. 県からの受託事業

事業名	内容
地域おこし協力隊定着促進 ・ネットワーク化事業	地域おこし協力隊の定着促進等を図るために、地域おこし協力隊みやざきサミットの企画運営（※令和2年8月19、20日において、リモートにて開催した）

⑨その他

1. 事業名 サードプレイスの開拓・運営事業とT-テラスプロジェクト
主 催 高千穂通りを愉しくする会
実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
実施場所 宮崎市高千穂通
事業内容 宮崎の中心市街地の活性化を目的とする会の事務局。その中で取り組んだ「T-テラス プロジェクト」とは、住民・事業者・行政が一体となりまちづくりのモデル事業として実施。宮崎市のメイン道路である高千穂通線の歩道に、宮崎県産の杉でステージを設置・活用し、中心市街地の賑わいを創出する社会実験。
利用実績 2件

エ. 環境の保全・啓発に関する活動

①九州地方環境パートナーシップオフィス（含む、九州地方ESD活動支援センター） 運営支援業務（環境省事業）

- 実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
実施場所 九州・沖縄地域（事務所所在地：熊本市中央区）
対象者 NPO団体、市民、行政、企業など
支援対象 （一社）九州環境地域づくり
事業内容 九州・沖縄地域における環境パートナーシップの推進、SDGsの普及啓発、地域循環共生圏推進を目的に、相談対応や情報提供・情報発信等の窓口業務を行うとともに、セミナーやフォーラムなど交流機会の提供や環境省事業の中間支援などを行った。
事業実績 （一社）九州環境地域づくりが環境省より受託している「九州環境パートナーシップオフィス（含む、九州地方ESD活動支援センター）」の運営に関するアドバイザーとして理事1名を派遣。

オ. 国際協力の活動

①宮崎市バージニア・ビーチ市姉妹都市協会事務局運営

- 実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業内容 宮崎市担当課との協議・連絡調整、会計、交流事業の企画運営

カ. 情報化社会の発展を図る活動

①市民活動支援のためのホームページおよびSNS等の企画提案、作成

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 宮崎文化本舗のホームページや各事業のフェイスブックページなどのコンテンツ拡充を図ることで、当法人だけでなく県内外の団体が行う活動を広報しネットワーク構築や市民活動支援につなげた。

キ. 経済活動の活性化を図る活動

①コイヤ協議会事務局

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市・東京都

事業内容 宮崎市、函館市、鹿沼市の事業者のネットワークと都内のデザイナーを繋ぎ国内産木材の統一ブランド「コイヤ」のECサイトでの販売に関する事務局を担当。

②令和2年度日本農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業

実施時期 令和2年9月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市

実施主体 宮崎県木材協同組合連合会

事業内容 宮崎県木材協同組合連合会からの委託を受け、韓国語、中国語（繁体・簡体）のビデオパンフレット、展示パネルを作成

ク. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

①インターンシップ受け入れ

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 各事業所

事業内容 各事業所において、市や県および中高生、職業訓練学校生などをインターンシップとして受け入れた。

ケ. 事務局コーディネート事業

①フィルム・コミッション機能強化事業

主催 宮崎県フィルム・コミッション

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎県

事業内容 市町村、観光協会、業界団体並びに住民団体等とのネットワーク化を図りながら、日頃から様々なロケーション収集と施設管理者等へ撮影のための協力依頼を県内全域で実施する。撮影前のシナリオハンティング、ロケーションハンティング及びロケ時の立会い等を宮崎フィルム・コミッションと協力して対応する(ロケ支援)。

新型コロナウイルスの影響が大きく出て、宮崎FCへの問い合わせ件数も減少。その中でも非常事態宣言や感染拡大の隙間を縫ってCMやWeb動画、TV番組などのロケが行われた。また、一般社団法人子ども映画教室の企画として宮崎の子どもたちが映画作りを体験するワークショップを実施、その模様を記録したドキュメンタリー映画を井口奈己監督が撮影し、そのサポートを行った。

②宮崎映画祭事務局運営業務

主催 宮崎映画祭実行委員会

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎市内

事業内容 映画上映や映画関係者トークショーの実施企画・運営事務局代行業務

宮崎映画祭 2020 運営業務、宮崎映画祭 2020 事務局業務

③みやざき国際ストリート音楽祭2021事務局運営事業

主催 みやざき国際ストリート音楽祭実行委員会

実施時期 令和2年10月25日～令和3年3月31日

事業内容 みやざき国際ストリート音楽祭2021の開催準備・運営

④ジャパンライブエールプロジェクト事務局事業

主催 ジャパンライブエールプロジェクト事務局事業

実施時期 令和2年10月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎県内各地

参加者数 25,818名

総予算 49,593,055円

事業内容 宮崎県内における全19の文化公演事業の運営事務局

番号	事業名	実施時期	参加者数	内容
1	みやざきミュージック フェスティバル2020 共催：みやざき国際ストリート 音楽祭実行委員会	令和2年 10月25日	3,590名	吹奏楽、合唱、ジャズ、フュージョン、 ロック、ポップス、ゴスペルなど様々 なジャンルのアーティストの演奏
2	みやざきの風土とアート 共催：宮崎市障がい福祉課	令和2年 10月25日	827名	宮崎市街中心地の一番街アーケード内 で障がい当事者が作成した書や絵画を 展示、会
3	第8回 宮崎ジャズデイ・ユネ スコ 430（宮崎ジャズデイ 2020） 共催：宮崎 JAZZ DAY 実行委 員会	令和2年 10月25日	1,122名	日本を代表するトランペッターの類家 心平 / RS5pb と、宮崎出身の西藤ヒ ロノブカルテットをお招きして、ジャ ズ音色をまちに響かせた。
4	Jazz Live Week 共催：宮崎 JAZZ DAY 実行委 員会	令和2年 10月22日～ 10月24日	102名	ライブハウス2ヶ所の3日間連続のプ ログラム開催でそれぞれ異なった演奏 を聴くことができ、演奏家と観客が一 体となった「ライブハウスの魅力」を 改めて体験できる機会を創出。
5	「国宝馬具」里帰り記念コンサ ート 共催：NPO 法人 iさいと	令和2年 10月31日	573名	国宝「馬具」の展示に合わせ第1部は 宮崎ではなじみの薄いモンゴルの楽器 「馬頭琴」の演奏者を福岡から招聘し 行なった。第2部では考古&歴史と音 楽を共に楽しむコンサートとした。
6	music for kid's 事業 共催：NPO 法人 みやざき子ど も文化センター	令和2年 10月2日～ 令和3年 2月20日	745名	2人から3人のミュージシャンで構成 し、園の要望に沿って実施した。リク エスト曲や季節の音楽を取り入れ、子 どもたちが喜ぶようなコンサートプロ グラムを期間中11回開催。
7	君が主役だ！素敵なアート体 験 共催：NPO 法人 みやざき子ど も文化センター	令和2年 10月17日～ 令和3年 2月23日	549名	児童館等、子どもたちが利用する各施 設のシンボルを3日間かけて作り上 げるワークショップを計15回開催。

8	MIYAZAKI LIVE CIRCUIT 共催：宮崎ライブサーキット実行委員会	令和2年 11月6日～ 令和3年 2月14日	1,082名	宮崎市内のライブハウスが連携するライブサーキットを開催。共通チケットを持つ観客が、会場を回遊することで、会場ごとのジャンル、形態の異なるライブを期間中16日間開催。
9	みやざき音街 共催：みやざき音街実行委員会	令和2年 12月19日、 令和3年 2月27日	2,160名	宮崎市の中心市街地を舞台にピアノ＆ヴァイオリン演奏、合唱、吹奏楽団、ピアノ演奏者、大道芸パフォーマー、マジック、ダンスを計2日間開催。
10	野田あすかと若手演奏家によるみんなの「ココロノイロ」コンサート 共催：宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課	令和2年 10月31日、 令和3年 12月9日	305名	野田あすかさんが国文祭・芸文祭2020のために作った新曲「ココロノイロ」の披露（弦楽5重奏及び吹奏楽との共演）するコンサートを2回実施。
11	大道芸で宮崎を笑顔に！ 共催：プラネットノア	令和2年 12月20日	93名	全国的に活躍するストリートパフォーマーがまちなかでパフォーマンスを行い、街中に驚きと笑顔を届ける大道芸パフォーマンスを開催。
12	年忘れリーディング公演 「八木助産院の食卓」 共催：劇団ゼロQ	令和2年 12月27日	83名	「みやざき岡田心平演劇賞」の戯曲部門受賞作品を朗読劇として実施。
13	書道パフォーマンス in 都城 共催：都城市総合政策課	令和2年 3月27日	254名	高校生による書道パフォーマンス及び生け花パフォーマンスを実施。WEB生中継し、関連イベントとして、参加校書道部の作品を市の図書館に展示（3週間）。
14	子ども映画製作ワークショップ 共催：宮崎映画祭実行委員会	令和2年 12月26日～ 令和3年 3月31日	282名	子どもに映画製作を体験させる「こども映画教室」の宮崎における実施。ならびにその行程を記録映画として作成、Youtubeにて配信。
15	こどもコンテンポラリーダンスカンパニー KID'S☆STAR 共催：NPO 法人 みやざき子ども文化センター	令和3年 2月14日	63名	出演するステージが次々とキャンセルになり、ダンスを披露する場がなくなった子どもたちのダンスパフォーマンス。
16	MIYAZAKI・落語芝居！ 共催：劇団SPC	令和3年 3月21日	111名	現在の宮崎を舞台にして古典落語の世界を演じ手と語り手に分けて公演。演目：①試し酒 ②お菊の皿 ③寝床
17	ことばで感動を伝えよう！「音声ガイド」制作ワークショップ 共催：宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課	令和3年 2月19日	43名	約90秒の映像について受講者が各自が考えた音声ガイドを発表し、情報保障の普及等に従事している専門家（全盲。大学研究員）及び映画や演劇のバリアフリー化（字幕、音声等）を専門とする Palabura(株)の講師が評価と解説を行うワークショップ。
18	みやざきバレエまつりマーシャの夢 ーくるみ割り人形版 共催：みやざき文化村	令和3年 2月11日	692名	国内有数のバレエ団（東京シティ・バレエ団、スターダンサーズ・バレエ団、NBA バレエ団）のプロダンサーをゲストに宮崎県内のアマチュア・ダンサーとの共演によるバレエ公演を開催。
19	劇団いかがなものか旗揚げ公演『喫煙室』 共催：劇団いかがなものか	令和3年 2月12日～ 2月14日	233名	劇団いかがなものかの旗揚げ公演で、『喫煙室』というオリジナルの演劇を上演。何かと息苦しくなっていく世相を、次第に追い詰められていく喫煙者の姿を描いて問題提起する内容

⑤公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会 事務局運営支援

主催 公益社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会事務局

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 一般社団法人生頼範義記念 みやざき文化推進協会 の公益社団化に伴う事務作業及び組織の運営及び作品展示に関する業務を理事1名スタッフ3名で支援。

⑥みやざきSDGsプラットフォーム設立準備事務局運営

実施期間 令和2年10月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎県内

対象者 NPO団体、市民、行政、企業など

事業内容 宮崎県内におけるSDGsを推進する母体となる協議会を設立するための準備会の運営。

事業実績 令和3年3月17日に設立発起人会を開催。設立が発起人及び参加者の全会一致で承認され令和3年度より本格的な活動を行うこととなった。

設立時の会員は以下の通り

宮崎県経営者協会・宮崎日日新聞社・宮崎大学・宮崎文化本舗・みやざき男女共同参画推進機構・みやざき女性の活躍推進会議・宮崎県医師会・みやざき子ども文化センター・宮崎県森林組合連合会・宮崎県木材協同組合連合会・宮崎県商工会議所連合会

宮崎商工会議所青年部・宮崎県商工会連合会・宮崎県銀行協会・

日本労働組合総連合会宮崎県連合会・日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会・宮崎県農業協同組合中央会・宮崎県漁業協同組合連合会・宮崎県建設業協会・宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県市長会・宮崎県町村会

コ. 広報活動

①情報誌の発行による広報活動

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 ・宮崎キネマ館情報を主体とする広報紙(キネマニア：年6回発行)
・みやざきアートセンター発行の広報紙(アートセンターニュースレター：年2回発行)
・みやざきアートセンター10年史編集事業
・宮崎市民活動センター発行の広報誌(みやざき大作戦：年4回発行)
・宮崎市民活動センター発行の広報誌(かわら版：年12回発行)
などによる定期的な広報活動。

②インターネットによる広報活動

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施場所 宮崎文化本舗

ウェブサイト：<http://www.bunkahonpo.or.jp>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/bunkahonpo/>

事業内容 当団体ウェブサイト、フェイスブックおよびメールによる広報活動。

および各事業ごとのウェブサイト・フェイスブック・Instagram・Twitter も開設・稼働中

サ. 災害救援活動

①復興支援活動

1. 事業名 令和2年度熊本豪雨災害復興活動支援

実施場所 宮崎市民活動センター、みやざきNPO・協働支援センター、ひまわり亭、青井阿蘇神社、岡山NPOセンター

実施時期 令和2年7月5日～令和3年3月31日

実施内容 令和2年7月の熊本豪雨災害で甚大な被害を受けた熊本県人吉地区を中心に支援物資を宮崎県内そして県外より集約し、計9回、食料やコロナ対策などの合計25,000点以上の支援物資の被災地への搬送を行った。また、人吉市の地域づくり団体「ひまわり亭」に対する災害復興に関するアドバイスを行った。

②防災減災に関する事業

1. 事業名 コロナ禍における災害ボランティア運営システムの構築

実施場所 宮崎市、東京都

実施時期 令和2年10月20日～令和3年3月31日

実施内容 コロナ禍の中で災害復旧（復興）ボランティアの受付。派遣をスムーズに行うためのシステムの開発。令和2年度中に意見交換、ワーキングを経て令和3年度に完成予定。

助成 日本財団

シ. その他

①宮崎県庁見学ツアー

事業名 宮崎県庁見学ツアー

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 「宮崎県庁見学ツアー」のボランティアガイドのシフト管理等を行った。ボランティアガイド10名で、全59回・延べ381名の見学者に対して、ガイドを実施した。

②外部人材活用による集落活動支援事業

事業名 外部人材活用による集落活動支援事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 中山間盛り上げ隊の北部地区の事務局を行い、募集件数2件、派遣回数2回、延べ16名の参加者があった

③宮崎県指定居住支援法人に係る事業

実施時期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業内容 宮崎県より指定を受け、居住支援法人として事業を行った。

空き家情報の収集および自治体の担当課との連携・情報共有、住宅確保要配慮者等からの相談対応を行った。

1. 事業名 居住支援法人活動支援事業

実施時期 令和2年6月19日～令和3年1月31日

事業内容 国交省より補助。居住支援法人の県域での周知に重点を置き事業を行った。居住支援を行う企業との情報交換や、興味を持っている大学生との対談等、感染症のリスクを抑えた周知活動を行った。生活困窮者からの居住に関する相談については、連携団体等と協議しながら対応。あわせて居住支援関係者へ向けた、他県の事例発表を含むセミナーを開催。